



ボードゲーム教室 1098



教室案内

キッズ

ジュニア

ティーン

教室案内 目次

	タイトル	ページ
塾 ボードゲーム教室 共通の方針	目次	2
	理念	3
	基本方針	4
	認知能力と非認知能力	5
	ボードゲームで伸びる力	6
	選べる5つの学び方	7
カリキュラム	年間カリキュラム	8
	月間カリキュラム	9
	定期イベント	10
	成長記録	11
	飛び級制度	12
詳細	時間割	13
	プライベートレッスン	14
	月謝体系	15
	ボドゲ先生について	18
オマケ	塾家建築物語	21

この案内に記載されている金額は
すべて税込（消費税10%）の金額です

当教室の理念



自分自身を「変えられる人」

周りや状況を「変えられる人」

Changer



×



ボードゲーム教室
1098

当教室もChangerとなって、

生徒だけでなく、

地域や日本の教育現場を

変えられる存在を目指します



3

基本方針

最上位目標

Changer

中位目標

心強い子

自主、自律、共成を発揮できる子

目標

認知能力の向上
非認知能力の向上

手段

認知能力：学習塾『塾屋』
非認知能力：ボードゲーム教室1098



×



ボードゲーム教室
1098

認知能力と非認知能力について

認知能力

IQや成績など数値化できる知的能力

非認知能力

認知能力以外の測れない力

育った木 = 人間力



レジリエンス

主体性

GRIT

創造力

メタ認知

自己肯定感

自制心

問題解決力

好奇心

コミュニケーション能力

認知
能力

+

非認知
能力

=

人間力

塾屋で指導

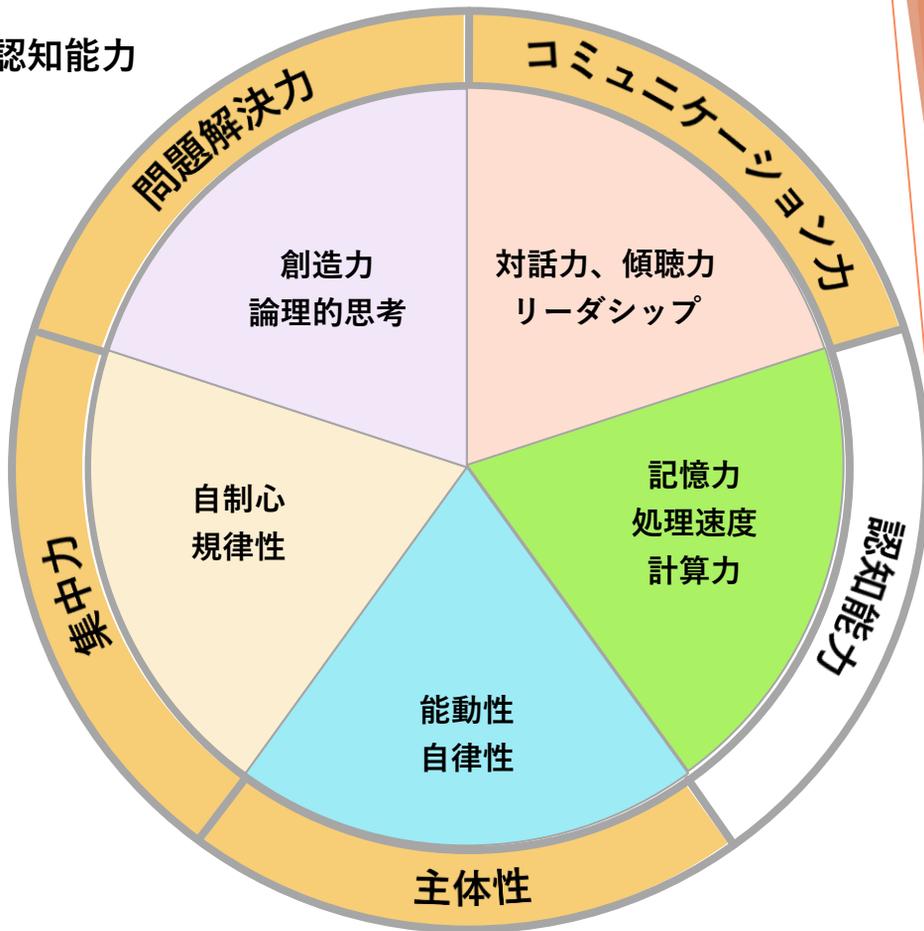
ボードゲーム教室で指導

5

ボードゲームで伸びる力

ボードゲームを『プレイすることで』身に付く力

：非認知能力



+

特定の能力に特化したボードゲーム

例、

交渉力

空間認知能力

チームビルディング

カタン

ヨメン

パンデミック

料理に例えるなら

→子供は『何これ！全部美味しい！』とたくさん食べる

→その料理が全て栄養満点で

その子が不足している栄養を補った特化したメニューになっている

選べる学び方5タイプ

選べる5つのタイプ

	学習塾のみ	ボードゲーム教室のみ	両方	学習塾 + ちょいボードゲーム※	ボードゲーム + ちょい塾※
キッズ 年中・年長	×	○	×	×	×
ジュニア 小1～小3	×	○	×	×	○
ティーン 小4～高校生	○	○	○	○	○
大学生 大人	×	△	×	×	×

※ちょいボードゲームの方法は、定期開催のボードゲームイベントへの参加です

※ちょい勉強の方法は、後ページにある『プライベートレッスン』をご覧ください

※大学生、大人のボードゲーム教室は、現在は創設せず、イベント参加のみです



年間カリキュラム

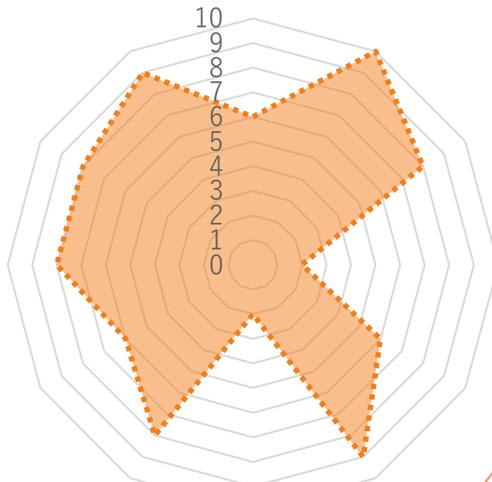
1 カ月 1 テーマで ボードゲームを選定します

1 年間で、そのクラスとして身につけたい能力をバランスよく鍛えることができます

キッズ→ジュニア→ティーン→ガチンコとあがっていくことで、より高度な能力が求められる
ボードゲームに変わります

	月間テーマ	ボードゲーム
4月	コミュニケーション能力	ニックネーム
5月	<p>ごめんなさい(;▽;)</p> <p>残りのテーマとボードゲームは、指導の根幹をなす 重要情報のため、塾生のみ公開とさせていただきます</p> <p>毎月、最初の週に 「月間テーマ」「ボードゲーム」 そして下記の「どんな能力が特に身に付くのか」の資料を お渡ししています ※クラスごとに異なります</p> <p>年間で12種類、どれも楽しいことは間違いなし！</p>	
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

例、カタン



ボードゲームはそれぞれに『求められる能力／伸びる能力』が異なります
(項目は塾生のみ公開)

月間カリキュラム

月間カリキュラム（5週目はおやすみ）

第1週 『初プレイ』 月間テーマのボードゲームを体験

第2週 『深める』 月間テーマのボードゲームを繰り返し実戦

第3週 『繋げる』 過去のテーマだったボードゲームを実戦

第4週 『Free』 フリーのボドゲ会

- ・どのボードゲームでもプレイできる
- ・だれとプレイしてもよい
- ・保護者の方の参観可能
- ・親子でのプレイもできる
- ・自作、持ち込みのボードゲームも可能



定期イベント

日々のボードゲーム教室での経験をさらに発展的に活かせるイベントがあります

ボードゲーム制作

名古屋大学の学生らが起業した「EdGift（エドギフト）」さんとコラボしてボードゲームを創作する講座を行います
(画像はエドギフトHP内掲載の体験時のもの)



貿易ゲーム

教室全体がボードゲーム？
30名規模で子ども・大人が混ざって
「壮大なボードゲーム」を行うイベントです
大人が本気で悔しがる、親子で参加してほしいイベントです



ボードゲーム会

普段やれない子とのボードゲーム、家族や通っていない友達とのボードゲームができるイベント



成長の記録

①成長記録通帳

子どもたちが経験したボードゲームについて

「プレイ」「勝利」「リーダー」「インスト」を経験したらシールを貼っていきます。

成長記録通帳



MVP賞



②MVP賞

授業の最後に行う「MVP賞」をとった記録を残します。

ボードゲーム教室は勝利などゴールを目指すこと以上に

「なんとかするための思考や行動」を評価しているので、

勝った人ではなく「最も価値のある思考や行動をした人」をMVPとしています

③通知表、テスト結果などの提出

学校での通知表やテスト結果などの提出をお願いしています。

飛び級制度

<通塾2年目から、飛び級制度があります>

例：通塾1年目＝小学校1年生＝ジュニアクラス

↓
飛び級条件を満たし、希望すれば

↓
通塾2年目＝小学校2年生＝ティーンクラス



キッズ
年中,年長



ジュニア
小1～小3



ティーン
小4～



大人の
ボドゲ会

飛び級

条件を満たし、希望すれば

飛び級の条件：以下の条件を全て満たす

1. 1年間、現クラスで通塾している
2. 習ったほとんどのゲームでの勝利、リーダーの経験がある
3. 上クラスの授業を2回受け、そんな色なくプレイ（ふるまい）できる

※2回分、授業料が発生します

時 間 割

火曜	水曜	木曜
15:45 キッズ 16:20	15:45 キッズ 16:20	
16:30 ジュニア 17:20	16:30 ジュニア 17:20	16:30 ティーン 17:20
		17:30 ティーン 18:20

【ちょい塾】プライベートレッスン

< 60分、1：1で塾長の指導を受けることができる特別講習です >

こんなときに使える

- ・1から教えてほしい単元がある
- ・たまっていた質問がたくさんある
- ・できていない内容があるけど原因も分からない
- ・親が教えるよりコスパもよくて、ノーストレス
- ・学校で習わない内容（検定、面接練習など）の授業



こんな人にオススメ

- ・人がいるときだと質問する勇気がない人
- ・質問した後、それができるようになるところまでやってほしい人
- ・学校の単元テスト・月例テスト前の総仕上げ
- ・懇談以外のタイミングでの進路相談や悩み相談会として
- ・普段ボードゲーム教室や自習生で通っていて勉強でピンチな単元が発生 ※ちょい塾



利用の仕方

予約アカウントで「プライベートレッスン」を選択して、空いているところで予約をします

→その予約のコメント欄で、どういった内容で利用するかを記入するだけ



利用料金

60分1レッスン 6,600円

※3月4月、7月8月、12月1月は講習期間につき4,400円



キッズ クラス



年中・年長

キッズクラス：年中・年長（クラス定員4～8名）

授業料・・・6,600円

料金は全て当月払いで、口座振替となります。

例：6月に授業をした場合、

併用割・・・5,500円

6月上旬に請求書を郵送でお送りし、

6月27日に口座引落されます。

※学習塾との併用で、-1,100円引き

入塾時にかかる費用

入塾準備金・・・11,000円

※入塾時のみ

一般にいう入会金ですが、塾屋では入塾時にかかった費用を請求しています

内訳：最初の懇談費用、生徒ファイル、口座振替手数料など入塾する際にかかる費用です

年間教材費・・・12,000円

※以降、毎年3月に請求

授業中に使用するボードゲームや、授業をするうえで必要な教材の費用です

学習塾 塾屋との費用割

ボードゲーム教室と併用する場合
(途中から併用した場合は、その月から変更)

①入塾準備金が
ボードゲーム教室分

無料

②年間教材費が
ボードゲーム教室分

無料

③ボードゲーム教室の月謝が併用割で

6,600円→5,500円 (-1,100)

きょうだいとの家族割

きょうだいで通塾する場合
(途中から併用した場合は、その月から変更)

①入塾準備金が
ボードゲーム教室分

無料

②年間教材費が
ボードゲーム教室分

無料

③ボードゲーム教室の月謝が併用割で

6,600円→5,500円 (-1,100)

ジュニア クラス

小1～小3



ジュニアクラス：小1～小3（クラス定員4～8名）

授業料・・・6,600円

料金は全て当月払いで、口座振替となります。

併用割・・・5,500円

例：6月に授業をした場合、

6月上旬に請求書を郵送でお送りし、

6月27日に口座引落されます。

※学習塾との併用で、-1100円引き

入塾時にかかる費用

入塾準備金・・・11,000円

※入塾時のみ

一般にいう入会金ですが、塾屋では入塾時にかかった費用を請求しています

内訳：最初の懇談費用、生徒ファイル、口座振替手数料など入塾する際にかかる費用です

年間教材費・・・12,000円

※以降、毎年3月に請求

授業中に使用するボードゲームや、授業をするうえで必要な教材の費用です

学習塾 塾屋との費用割

ボードゲーム教室と併用する場合
(途中から併用した場合は、その月から変更)

①入塾準備金が
ボードゲーム教室分

無料

②年間教材費が
ボードゲーム教室分

無料

③ボードゲーム教室の月謝が併用割で

6,600円→5,500円 (-1,100)

きょうだいとの家族割

きょうだいで通塾する場合
(途中から併用した場合は、その月から変更)

①入塾準備金が
ボードゲーム教室分

無料

②年間教材費が
ボードゲーム教室分

無料

③ボードゲーム教室の月謝が併用割で

6,600円→5,500円 (-1,100)

ティーン クラス

小4～高校生



ティーンクラス：小4～高校生（クラス定員4～8名）

授業料・・・6,600円

料金は全て当月払いで、口座振替となります。

併用割・・・5,500円

例：6月に授業をした場合、

※学習塾との併用で、-1100円引き

6月上旬に請求書を郵送でお送りし、
6月27日に口座引落されます。

入塾時にかかる費用

入塾準備金・・・11,000円

※入塾時のみ

一般にいう入会金ですが、塾屋では入塾時にかかった費用を請求しています

内訳：最初の懇談費用、生徒ファイル、口座振替手数料など入塾する際にかかる費用です

年間教材費・・・12,000円

※以降、毎年3月に請求

授業中に使用するボードゲームや、授業をするうえで必要な教材の費用です

学習塾 塾屋との費用割

ボードゲーム教室と併用する場合
(途中から併用した場合は、その月から変更)

①入塾準備金が
ボードゲーム教室分

無料

②年間教材費が
ボードゲーム教室分

無料

③ボードゲーム教室の月謝が併用割で

6,600円→5,500円 (-1,100)

きょうだいとの家族割

きょうだいで通塾する場合
(途中から併用した場合は、その月から変更)

①入塾準備金が
ボードゲーム教室分

無料

②年間教材費が
ボードゲーム教室分

無料

③ボードゲーム教室の月謝が併用割で

6,600円→5,500円 (-1,100)

坪内 康将 (つぼうち こうすけ)

(塾ではじゅくちょー、ボードゲーム教室ではボドゲ先生)

● 1983年 (昭和57年) 10月13日

愛知県祖父江町 (現 稲沢市) で生まれる

● 1989年～1997年度

小・中学校ともに地元公立校

● 1998年～2000年度

公立『一宮興道』高校

● 2001年～2004年度

国立『愛知教育大学』教育科学学科。

中学・高校の教員免許を取得し、卒業する

● 2005年度～2007年度

中堅学習塾の教室に就任する

● 2007年度 1月 (24歳)

独立し、『塾屋』をスタートさせる

● 2010年7月

結婚

10月：塾屋が法人化し『(株) 1098』になる

● 2014年1月

第一子誕生

● 2022年4月

日本初『学習塾×ボードゲーム教室』学びの場を開講

主な塾外実績 (2022年3月時)

- ・名古屋大学の授業「ボードゲームを究める」にて
ゲストスピーカーを担当 (2019年～)
- ・愛知県新城小学校にて貿易ゲーム講師
- ・「ボードゲーム教育協会」理事





<ボドゲ先生が好きなボードゲーム ベスト3>

1位 カタン

2位 ピクチャーズ

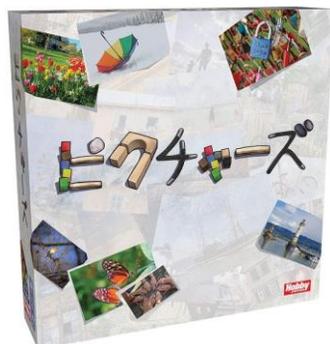
3位 いかさまゴキブリ

いずれもボードゲーム教室にあります。

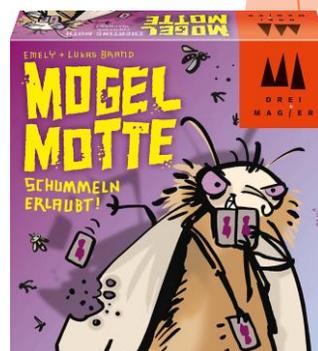
年間カリキュラムにも入っているかも?!



1位 カタン



2位ピクチャーズ



3位いかさまゴキブリ



<家族とボードゲーム>

もともとボードゲームが教育に良いことに興味を持ったのも、娘の「知育」を考えたときでした。当時、年中だった娘に「ダブル」を渡したところからはじまったと記憶しています

ボードゲームはそもそも、どれを選んでも（適齢かどうかは選定しますが）とても楽しいものです。家族3人でやってみて、2回3回と繰り返すことは当たり前、時間があれば誰からともなく「ボードゲームやろうか」と家族が集まり2時間3時間とやっています

ボードゲーム教室を始めるにあたり、ボードゲームが「どう良いのか」を分析や研究を行うなかで『ボードゲームのある生活をさせていて良かったな』と日々感じています

2022年現在、小学2年生ですが、プレイしたボードゲームは30種類以上、世界三大ボードゲームの1つと言われている「カタン」もマスターし、私たち夫婦だけでなく、塾のスタッフやEdGift創業メンバー（名古屋大学の学生）にも互角に戦って勝利したり、チームプレイができています

20

ボードゲームをはじめてからの**変容**として分かりやすいものを5つ挙げてみます

- ・ 社交性＝年上、大人が相手でも遠慮することなく交渉や協力ができるようになりました
- ・ 論理的思考＝会話が長くなり、説明をしっかりと最後まで話すようになりました
- ・ 戦略思考＝作戦をもって行動するようになりました（ずる賢い場面もw)
- ・ 創意工夫＝オリジナルな表現や発想がモジモジせずに出てくるようになりました
- ・ レジリエンス＝うまくいかない、負けを経験できるので、切替がうまくなりました



塾家建築物語

皆で力を合わせ建てた家で育った子どもたちもいつの間にか大きくなりました。

お兄ちゃんは結婚して子どもが生まれ、お父さんになりました。

そして今、お母さんのお腹には新しい命も宿っています。

家族も増えるし、そろそろこのアパートも手狭になりそうだね。

新しく、皆で住める家を買おうか？

一家の暮らす大都会の街には沢山の家が売られていました。

デザイナーズ建築のお洒落な家。

広い平屋の家。ガレージのある3階建ての家。

子育て世帯でも無理なく買えそうな価格の家。

一家はどんな家を選ぶのでしょうか。

たくさん家を見て、お母さんは言いました。

私はこの家がいいなあ。

お母さんが指差したのは。

白い壁にアイアンの門が似合う美しい家でした。

こんなにお洒落で素敵なのに、それほど高くないし、リビングも20畳、それに駅から10分よ。

営業マンが言っていたじゃない？

この立地、この広さでこの値段の家は中々ありませんよ、って。

私はこのお家がいいなあ。

娘が気に入ったのは、小学校の目の前の家。

ここなら8時に起きても学校に間に合うよ！

お父さんは考え込みました。



塾家建築物語

小学校の目の前の家かぁ。確かに便利でいいなぁ。8時に起きてもらっちゃ困るけれど。

お母さんが気に入ったこの家も綺麗だなぁ。

こんなお洒落な家で新生活を始められたら楽しそうだな…

営業マンが言う通りローンの負担もそんなに気にならない。飲んで帰っても駅からすぐだし。

…でも僕は何か僕にとって大切なことを見落としている気がする…。

その時、お父さんの脳裏に大地震の記憶が蘇りました。

そうだ、あの時…。

お父さんは言いました。

白い壁にアイアンの家も小学校の前の家もどちらも魅力的だね。

でも、ちょっと視点を変えてもう一度家探しをしてみないか？

視点を変える？

そう。

僕は子どもの頃、大地震に襲われた。その時、僕たちの建てた家は無傷だったんだ。

僕の父は言っていた。土台をしっかりと据えた家は強いんだよ、と。

大切な家族と住みたいのはどんな大地震にも揺らがないしっかりとした土台の家だ。

そうして一家は再び、家探しを始めました。

そうして出会ったのは、ひとりの大工さんが勧めてくれた家でした。

この家はね、オレの想いの全てを詰め込んだ家だ。

木材から全て吟味して建てた思い入れのある家だ。

手入れをすれば百年でも住める家を建てたいと思ってね。

立地もね、この辺りは、駅からは少し遠いけれど、地質がとていいんだ。

高台にあって水害にも強い。地質の良い土地の上に建ち、

耐震性をも備えたこの家はどんな災害や大地震が来ても倒れないと自信を持って言えるよ。

大工さんはにっこり笑って家を見上げました。



塾家建築物語

ここにしよう！一家の意見が一致しました。

素敵なアイアンの門はないけれど、温かみのあるひのきの香りが漂うその家で、新生活が始まりました。

3人で選んだこの家で、どんな未来が描かれるのでしょうか。

赤ちゃんも産まれてきっと新たに素敵な物語が始まるに違いありません。

さあ、あなたも素敵な家を選びにいてくださいね。

どんな家にしましょうか。

あなたが選んだ家で築くあなたの未来。可能性は無限大。

でもひとつ。

私達からのお願いです。

あなたの未来を築く家作り。どうか、見えないものにも目を向けてみてくださいね。

丈夫な土台の上に建つ家こそが、あなたの未来をどこまでも広げ続けると私達は確信しています。

でも…どうやったら丈夫な土台を築けるんだろう？

迷うからこそ私達の出番です。

人生の礎となる土台作り、一緒に楽しんでいきましょう。

最後に

長く、つたない文章ですが、最後までお読みいただきありがとうございました

私個人としては、説明がない、または口頭でされるよりも文章でしっかり残っていて気になったときに読み返せる方が助かるので、なるべく書面でお伝えしています

ここまで読んでいただいた教育熱心なご家庭のお子様の指導ができることを楽しみにしています

なお、学習塾（小4～）、自習生コースは別資料がございますので興味をお持ちの方はお声がけください。そちらの資料もお渡しいたします

坪内康将

